

報告書抄録

ふりがな	まつばらないこいせき							
書名	松原内湖遺跡							
シリーズ名	一般国道8号米原バイパス建設に伴う発掘調査報告書							
シリーズ番号	4							
編著者名	小島孝修・鈴木康二							
編集機関	滋賀県						公益財団法人滋賀県文化財保護協会	
所在地	滋賀県大津市京町四丁目1番1号			滋賀県大津市瀬田南大萱町1732番2号				
発行年月日	令和4年(2022年)3月							
ふりがな 所収遺跡	ふりがな 所在地	コード		世界測地系		調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号	北緯	東経			
まつばらないこ 松原内湖 いせき 遺跡	しがけん 滋賀県 ひこねし 彦根市 まつばらちよう 松原町	25202	202-026	35度 17分 33秒	136度 16分 01秒	20071207～ 20080229 20120516～ 20130131 20130625～ 20140221 20140408～ 20150220 20150515～ 20151215 20160620～ 20160930 20180129～ 20180219	17,350 m ²	一般国道 8号米原 バイパス 建設工事
所収遺跡名	種別	主な時代		主な遺構		主な遺物		特記事項
松原内湖 遺跡	集落跡	縄文時代		集石土坑・土坑		縄文土器・石器		
	古墳	古墳時代		古墳		須恵器・金属製品		
	集落跡	奈良時代～ 平安時代初頭		掘立柱建物・溝・ 埋設土器		須恵器・土師器		
		平安時代末～ 鎌倉時代前期		溝・自然流路		陶器・山茶碗・ 黒色土器		
		鎌倉時代末～ 室町時代		掘立柱建物・土坑・ 溝		陶器・磁器・ 土師器・木製品		巻数板
	城郭	安土桃山時代		堀切・竪堀		陶器・磁器		
	近代		線路敷設関連遺構		陶器・金属製品			
要約	<p>松原内湖遺跡は、佐和山丘陵西麓と旧松原内湖が接する地点に立地する。第5次となる今回の発掘調査地点は、地形により3つに分けられる。丘陵部調査区では、古墳時代後期の古墳石室と安土桃山時代の堀切・竪堀などを検出した。谷部調査区では、旧松原内湖の堆積土から中世の遺物が出土したほか、丘陵裾では縄文時代の集石土坑などを検出した。低地部調査区では、奈良時代から室町時代にかけて断続的に形成された集落跡を検出した。とくに室町時代後期では、溝により区画された屋敷地と思われる遺構を検出した。このほか、鎌倉時代末の年号が書かれた巻数板は、希少な出土事例として注目される。</p>							